

次期の森林計画（第6次大淀川森林計画区） についての検討方向

－ 目 次 －

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

2. 次期計画の検討方向

宮崎森林管理署
宮崎森林管理署都城支署

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（1）国有林野の管理経営に関する基本的な事項

・本計画の対象は、大淀川森林計画区を管轄区域とする国有林野で、宮崎県中央部に位置する4市4町からなり、大淀川の源流部から海岸域に及んでいます。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が53,526ha、天然生林が33,798haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではカシ類、ナラ類、クヌギなどとなっており、国有林野面積は89,367ha、蓄積は24,182千m³となっています。

・このうち、綾町を主体とする国有林、県有林、民有林（約1万ha）においては、九州森林管理局、宮崎県、綾町、てるはの森の会、日本自然保護協会との5者協定による「綾川流域照葉樹林保護・復元計画（通称：綾の照葉樹林プロジェクト）」による、原生的な照葉樹林の保護、二次林や人工林からの照葉樹林への復元に向けた取組が行われています。



1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

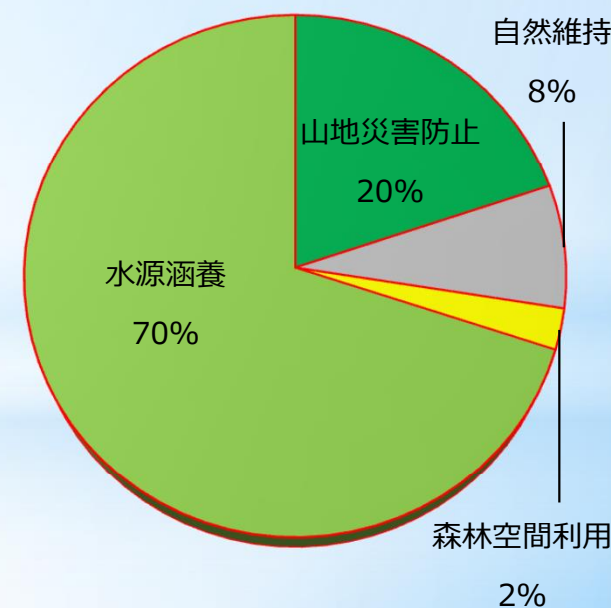
（1）国有林野の管理経営に関する基本的な事項

機能類型に応じた管理経営

公益的機能の維持増進を旨とする方針の下、重点的に発揮させるべき機能によって、次の5つのタイプに区分し管理経営を行っています。

区 分	機 能	面積 (ha)
山地災害防止タイプ	土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林	17,749
自然維持タイプ	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林	6,778
森林空間利用タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林	2,266
快適環境形成タイプ	騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林	—
水源涵養タイプ	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林	62,506

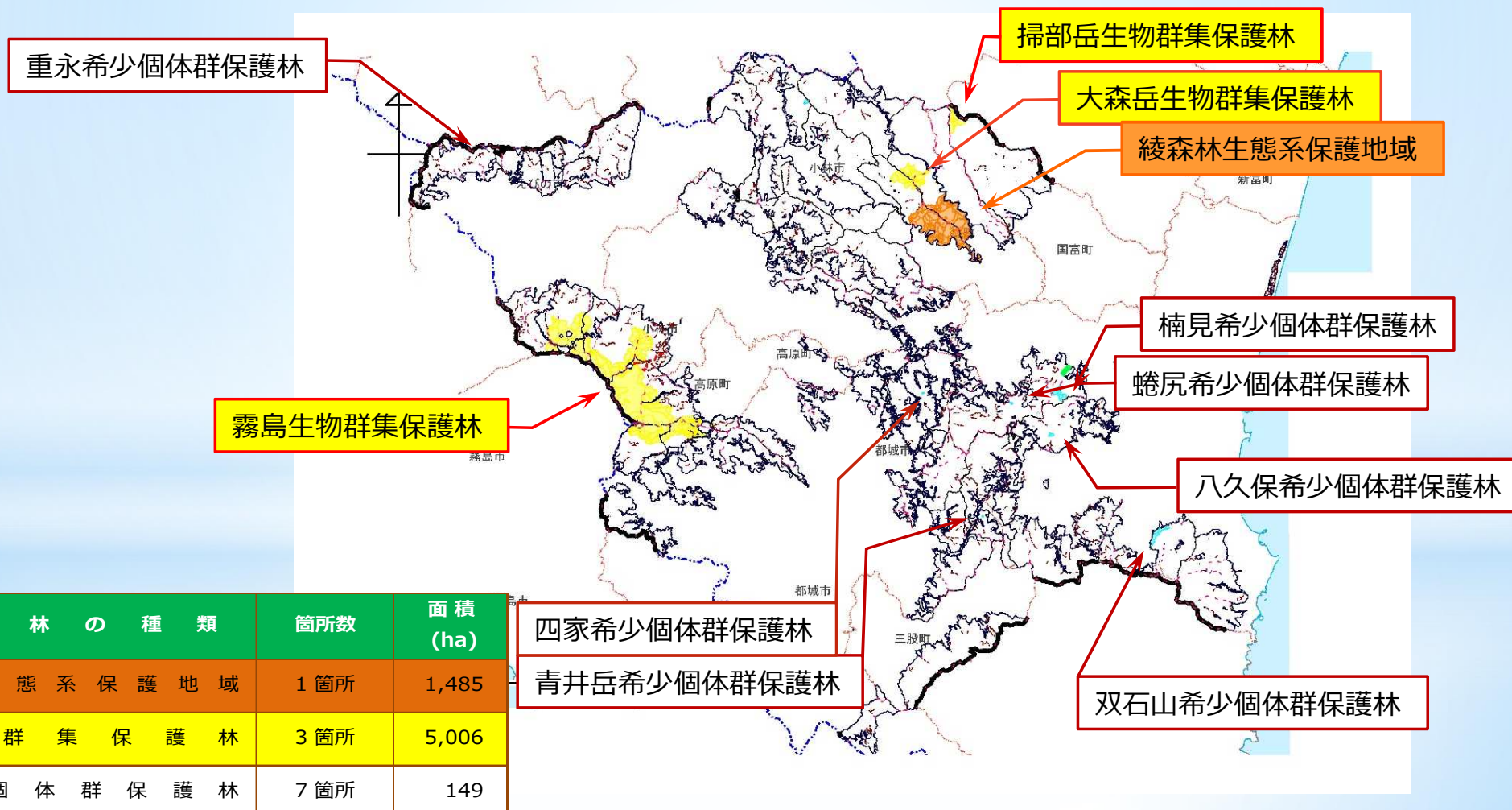
機能類型別
区分面積割合



1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（2）国有林野の維持及び保存に関する事項

本計画区には貴重な自然環境を有する天然林等が多数存在しており、生物多様性保全の観点などから保護林を設定し適切に保護・保存を図っていくとともに、巡視活動やモニタリング調査を通じた適切な保全・管理を推進しています。



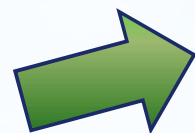
1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（2）国有林野の維持及び保存に関する事項

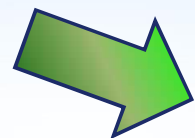
本計画区の国有林では、公益的機能の高度発揮が求められることから、適切な保育、間伐を進めるとともに立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然稚幼樹の育成による針広混交林化、伐採林齢の延長による長伐期施業への転換を図っています。



多様な森林づくりを推進し



間伐等の実施により



針
広
混
交
林



長
伐
期
施
業
森
林

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（2）国有林野の維持及び保存に関する事項

安全・安心の確保に向けた効率的な治山対策に取り組んでいます。



梅雨や台風等により、毎年多くの山地災害が発生しています。また、近年、地球温暖化による集中豪雨により、山地災害の発生リスクは高まっています。そのため荒廃溪流の復旧、荒廃のおそれのある溪流等の災害予防のため、治山ダム等を施工し、地域住民の安心・安全に寄与するよう取り組んでいます。

シカの食害被害から希少植物等の保護再生の取り組みを行っています。



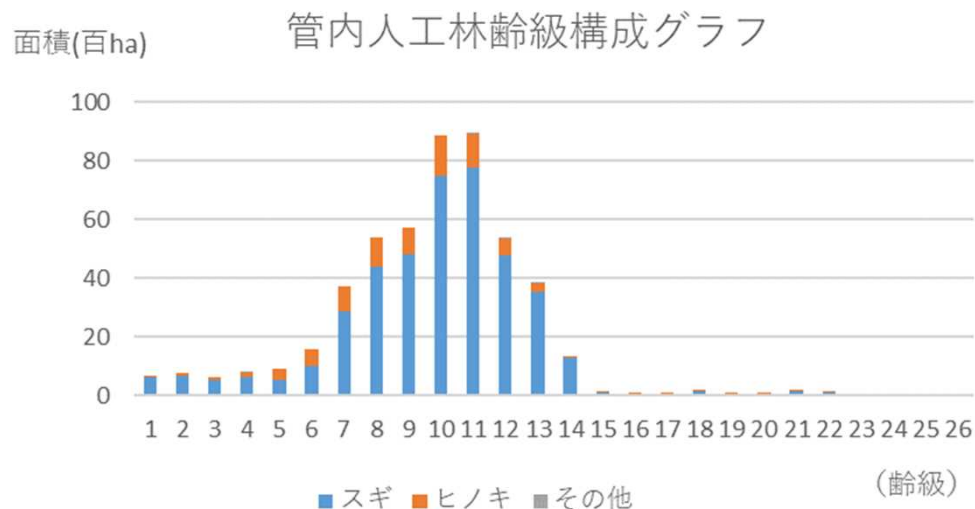
シカの食害被害が大きくなると、下層植生が衰退したり、一部には土壌流出が見られるなど、生物の多様性などに影響が生じます。令和元年度には、綾町における照葉樹林復元ボランティア作業において、一般参加のボランティアの方々と共にシカネット設置を行いました。

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（3）林産物の供給に関する事項

林産物の供給に当たっては、間伐材の利用促進を図りつつ路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率で低コストな作業システムの定着を図りつつ、木質バイオマス資源として利用可能な低質材等の安定供給に努めることとします。

伐採、造林等の事業実施については、その効率化を図りつつ、健全な森林整備を推進し、木材等の需要動向の状況等を把握し、国有林材の安定的な供給を推進しています。



森林作業道を活用した
森林整備事業(間伐)の推進

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（3）林産物の供給に関する事項

丸太素材の生産販売事業を円滑にするため採材検討会を実施しています。



システム販売等による素材商品を作る上で、需用者のニーズに応じた採材及び造材技術の向上を図るため、採材検討会を実施し、生産側と需要側による意見交換を行い、認識を共有することで効果的な素材丸太の供給に取り組んでいます。

低コスト造林の実施に向けた取り組みを推進しています。

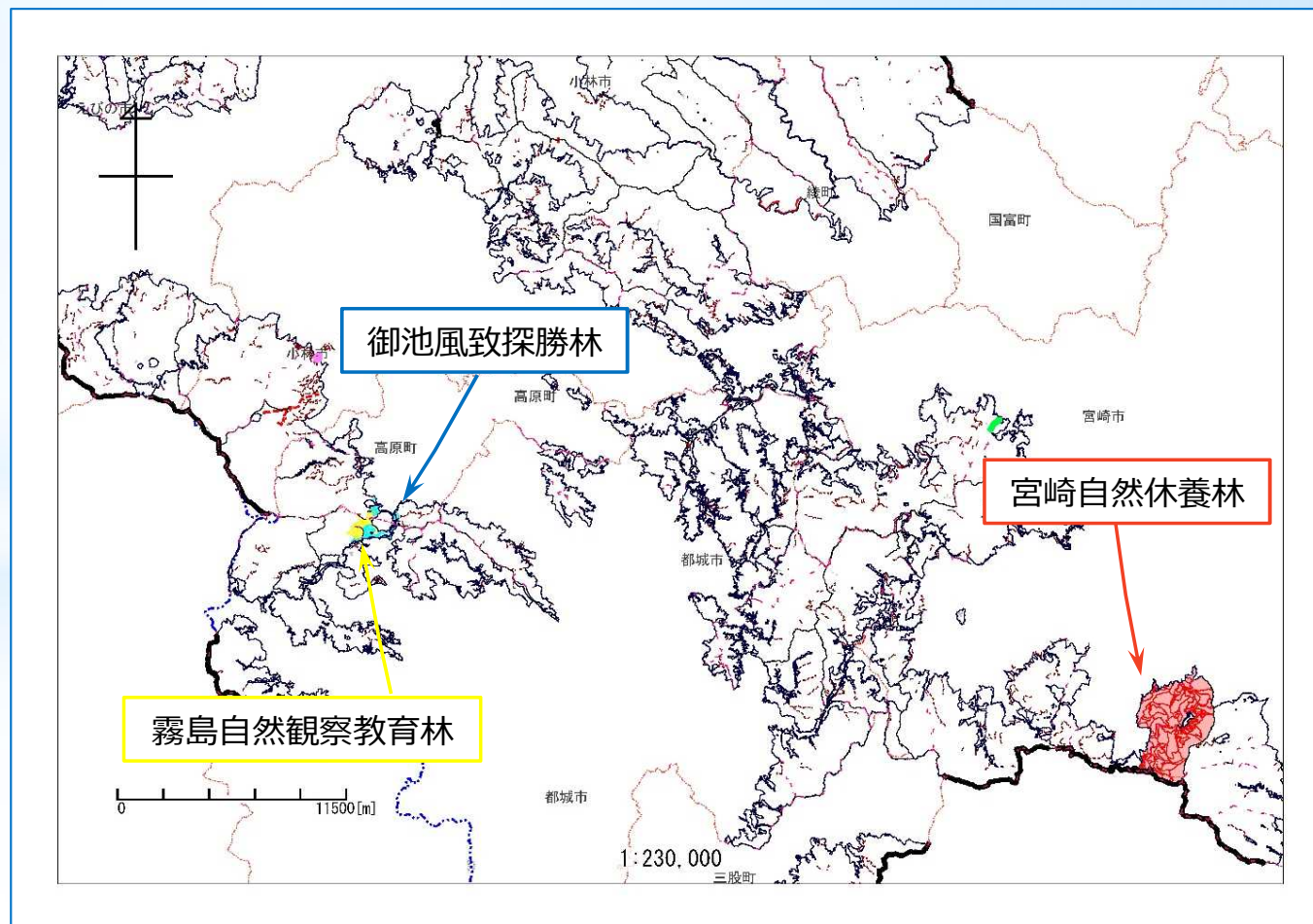


林業経営コストの大半を占める保育事業コストの低減に取り組むため、誘導伐施業に取り組み、それとコンテナ苗による植栽を一つの事業(一貫作業システム)として実行することにより、低コスト造林の実施に向け取り組んでいます。

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（4）国有林野の活用に関する事項

本計画区内の宮崎市、都城市を中心とする一帯は、貴重な高山植物や優れた自然環境など豊富な観光資源に恵まれ、登山、ハイキング、キャンプなど保健休養の場として広く市民に親しまれており、地域の社会的・経済的状况、住民の意向等を考慮して、また、地域における産業の振興、住民の福祉の向上等に資するよう、国有林野の管理経営との調整を図りつつ、国有林野の活用を推進することとしています。



レクリエーションの森一覧	面積 (ha)
宮崎自然休養林	1,430
霧島自然観察教育林	95
御池風致探勝林	113

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（5）国民の参加による森林の整備に関する事項

国民参加による森林の整備・保全等に関する情報の提供、国民からの相談への対応、国民参加の支援を行いつつ、ボランティア団体等との協定に基づく「ふれあいの森」等により、国民の自主的な参加による森林整備活動等を推進し、併せて社会貢献活動として森林づくりに取り組む企業等の要請に応えるため、分収林制度の活用による森林整備を推進することとしています。

（1）ふれあいの森

位 置 （ 林 小 班 ）	位 置 （ 市 町 村 ）	面 積 （ ha ）
明神山94ぬ1	宮崎 市	3
前濱94い、い1	宮崎 市	6

（2）遊々の森

位 置 （ 林 小 班 ）	位 置 （ 市 町 村 ）	面 積 （ ha ）
宮崎213な外	宮崎 市	53
宮崎219い外	宮崎 市	84
都城259へ外	都 城 市	8

（3）分収造林地の市町村別面積

市 町 村	面 積 （ ha ）
宮崎 市	1,948
都 城 市	1,236
小 林 市	1,603
え び の 市	401
三 股 町	64
高 原 町	152
国 富 町	43
綾 町	124
合 計	5,571

（4）貸付地の用途別面積

対 象 地	面 積 （ ha ）
道 路 敷	366
ダム及び堰堤敷	25
電気事業用地	172
通信事業用地	5
防衛施設用地	1
ため池及び水路敷	16
森林空間利用用地	47
採草放牧地	177
農 耕 用 地	3
温 鉱 泉 用 地	5
建 物 敷	6
そ の 他	85
合 計	908

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和5年3月31日）

（5）国民の参加による森林の整備に関する事項

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全を図っています。



宮崎森林管理署管内の一寸葉海岸林では、地元の櫛振興会へ取締監視員委嘱を行い、宮崎市の前浜国有林周辺において海岸林の保全管理を目的に、ゴミの不法投棄や松の不法採取等を監視する活動をして頂いています。

「国民の森」としての管理経営をしています。



国民共有財産である国有林において、「NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会」などボランティア等による国民参加型の森林づくりや森林環境教育の推進、レクリエーションの森等保健休養の場としての提供など、地域振興に資するため積極的に取り組んでいます。

2. 次期計画の検討方向

公益重視の管理経営の一層の推進

- 本計画区では、国有林野の森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、森林吸収源対策として必要な間伐の実施や主伐及びその後の計画的な更新など適切な森林施業を推進するとともに、これらの取組を効率的に実施するために必要な林道等の路網整備を進めます。

森林・林業再生に向けた貢献

- 民有林への普及を念頭にした林業の低コスト化等に関する先駆的手法を積極的に導入するとともに、国有林野の管理経営や民有林において、低コストで高効率な施業が普及・定着するよう取り組みつつ、木材を計画的・安定的に供給することを通じて地域振興に貢献していきます。

地域と連携した生物多様性の保全

- 貴重な森林生態系を有する「森林生態系保護地域」などの保護林について、厳格な保全・管理に努めます。また、シカ被害対策について、地域と連携した対策を実施するとともに、モデル地域を設定し、効果的な捕獲対策の実証等を推進していきます。
- 本計画区には、各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林を適切に管理していく必要があります。

2. 次期計画の検討方向

公益重視の管理経営の一層の推進

公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を一層推進するとの方針の下、重視される機能に応じた管理経営を推進し、併せて民有林と一体的な整備・保全に取り組めるよう機能類型区分に配慮した管理経営を推進する方向です。

治山事業においては、残存形枠に間伐材等の木材を利用したり、袖詰コンクリートの材料に現地発生材の土石を利用する等、環境に配慮した治山事業を推進しています。



宮崎市内における一ッ葉海岸林の遠景



宮崎森林管理署管内に施工した治山施設

2. 次期計画の検討方向

森林・林業再生に向けた貢献

森林の公益的機能の高度発揮のため、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進しつつ、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐・再造林を計画的に推進する方向です。

民有林と国有林が連携した路網のネットワーク化や間伐等の森林整備を推進するため、民有林との情報交換や図面等の共有化を進める取り組みをさらに推進する方向です。



主伐・再造林（誘導伐施業）の実施風景



森林共同施業団地に関する運営会議の様子

2. 次期計画の検討方向

森林・林業再生に向けた貢献

生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。

木材のバイオマス燃料としての需要が見込まれることから、これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。



宮崎森林管理署管内における路網の作設風景



宮崎県内に多数所在するバイオマス発電所

2. 次期計画の検討方向

地域と連携した生物多様性の保全

貴重な植物種等の保護・保全を目的とする保護林・緑の回廊及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、適切に保全していく方向です。

地域の実態に即した効率的な対策を進めるため、国有林内でのシカの捕獲を進めるとともに、地元市町村・猟友会とシカ被害対策協定を締結し、地域全体の被害対策を実施していく方向です。



宮崎自然休養林における登山道点検の様子



国有林内におけるシカ捕獲の様子

2. 次期計画の検討方向

地域と連携した生物多様性の保全

綾町の森林を主体とした「綾の照葉樹林プロジェクト」については、我が国最大級の原始的で学術的にも貴重な照葉樹林を未来へ継承するとの基本理念の下、原始的な照葉樹林については適切に保護・保全を行う方向です。

社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため「ふれあいの森」制度を活用して、引き続き国民参加による森林づくりを推進する方向です。



「綾の照葉樹林プロジェクト」連携会議の様子



白濱青松の森における体験林業(間伐作業)